

ささぐり

GIKAI

ぎかいだより

No.157

ジャーナル



コスモスと萩尾分校



平成20年・9月議会号

平成20年11月1日発行

19年度決算認定

9月定例会

グラフで見る篠栗町の10年

9人が一般質問

2

5

8

11

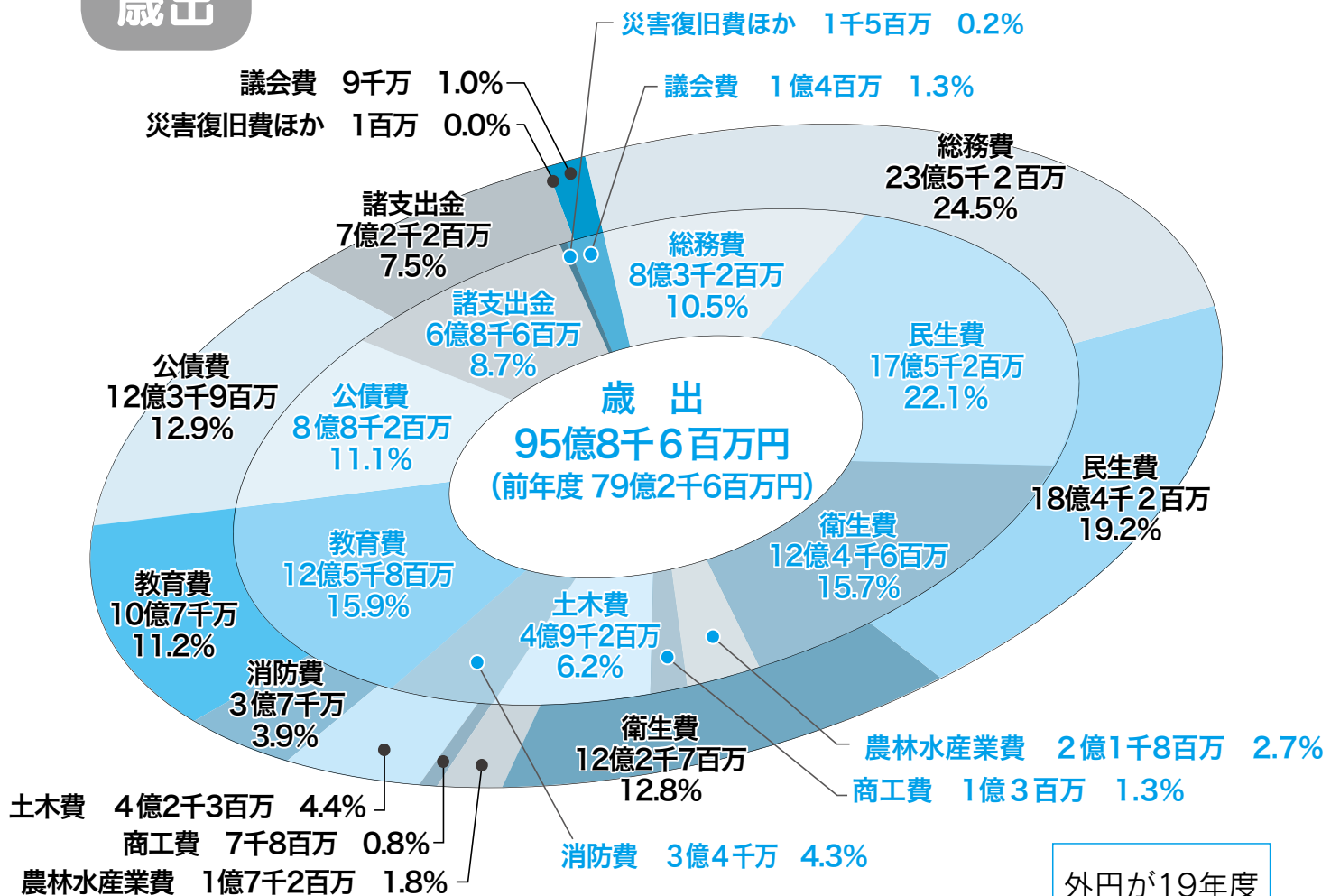


ぎかいだよりは環境保護のため再生紙を使用しています
100%植物油型インキ「ナチュラリス 100」を使用しました。

3,800万円

18年度比 約11.6% (18.4億円) の増額

一般会計 歳出



外円が19年度
内円が18年度

- 議会費の減は議員定数削減によります。
- 総務費の大幅な増は基金組み替えによります。その分を差し引けば7,068万円の減です。
- 教育費の減は前年度の篠小給食室建設費が大きかったことによります。
- 公債費の大幅な増は公民館用地債の繰上償還分2億3,640万円と、元利償還金の増によります。

平成19年度歳入歳出決算認定

全員賛成認定

歳出

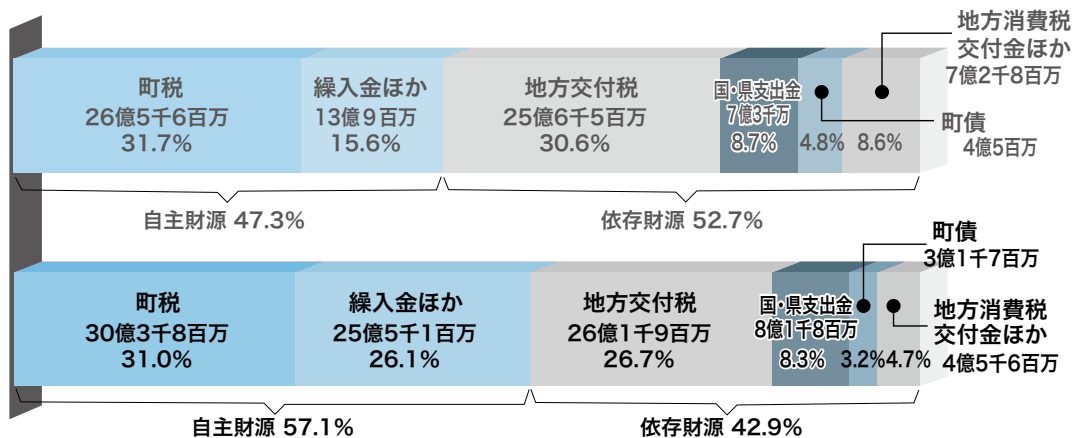
177億

一般会計・特別会計総額

歳入 177億8,400万円

一般会計
歳入

平成18年度決算
83億9千2百万



特別会計決算

(十万円単位四捨五入 単位：円)

会 計	決 算 額		対前年度増減	
	歳 入	歳 出	歳 入	歳 出
国民健康保険	29億4千8百万	30億2千9百万	4億8千 万	4億8千3百万
老人保健	25億1千9百万	25億1千9百万	▲1億2千5百万	▲1億5千9百万
公共下水道	18億1千7百万	17億9千1百万	▲ 4千4百万	▲ 3千3百万
水道事業	6億9千9百万	8億1千3百万	1千 万	1千8百万
合 計	79億8千4百万	81億5千2百万	※ 1億9千1百万	※ 1億8千 万

※対前年度増減の合計額は、昨年度に廃止された公共・公益特別会計分を含む。

平成19年度決算審査報告

一般会計・特別会計等

篠栗町監査委員

畠江 正純
村嶋 秀樹

審査の対象

平成19年度篠栗町一般会計・特別会計・水道事業会計歳入歳出決算。

審査の方法

地方自治法第233条第2項、地方公営企業法第30条第2項の規定に基づき審査に附されました。

審査の結果

一般会計及び特別会計歳入歳出決算額は、違法な点は見られず、また水道事業会計も健全な経営がなされ、かつ関係諸帳票及び証憑書類と合致しており、決算の計数は正確でした。

また、予算の執行・収入支出事務の処理及び財産管理についておおむね適正でした。しかし、将来を見越した財政運営のいっそうの健全化が求められます。

監査委員の意見

制度改革と景気回復などで、19年度は町税・地方交付税・国県支出金は増加しましたが、地方議与税・臨時財政対策債ほか減少しました。地方自治体は依然として厳しい状況にあり、次年度以降も交付税、国・県支出金的大幅な増や、町税など自主財源の著しい増加は望めません。

運営では、人件費をはじめ建設事業費・物件費他聖域なく一切の無駄を排除し、効率的な執行体制を確立しなくてはなりません。

自主財源の増加のため、町税徴収率の向上に努め、町有財産の貸付・売り払いなども積極的に進めるべきです。町民サービスを低下させず町民福祉を実現する行財政改革を推進しなくてはなりません。

歳出では、数年前までの大規模建設事業による公債費が年毎に増加し、20年度には一般会計だけでも11億円を超えます。また、負担金・医療費・扶助費をはじめさまざまな支出増が予測されま

す。こういいう行事を遂行するために、職員意識の改革と組織・制度の改革は不可欠です。年功序列的な制度にも競争原理を持ち込み、職員の能力がいきいきと発揮できる制度としなくてはなりません。

地方分権を担うこれらの地方自治体は、自己決定・自己責任がいつそう求められ、財政悪化の予測への対策が早急に望まれます。今後の行財政

を持続可能な行財政を維持できる体制づくりに積極的に取り組むよう求めます。

19年度に完了した主な事業

- ・勢門小・篠栗中耐震補強工事
- ・篠栗小旧給食室改修工事
- ・山手駅前公衆トイレ建築工事
- ・城戸健康広場設置工事

・・・などです。



山手駅前公衆トイレ

9月定例会

日程
9/8~19

9月定例会は決算認定議会です。そのほか人事案件2件、条例改正5件、工事契約1件、事務組合規約の変更1件、補正予算3件、発議1件が上程され、全員賛成で認定・可決しました。また請願4件・陳情2件が提出され、請願1件は継続審査、陳情1件は賛成少数で不採択、他4件は一部修正もありますが、全員賛成あるいは賛成多数で採択しました。

固定資産評価 審査委員に安倍氏

現委員の中富氏任期満了に伴い、新委員として安倍勇氏の選任に同意しました。

安倍氏は今年3月、生活環境課長を最後に篠栗町役場を退職され、和田区に在住です。
(全員賛成同意)

教育委員会委員に 棚橋氏を再任

現委員の棚橋利昭氏が今年9月で任期満了となるため、再任に同意しました。

棚橋氏はベントナヒルス区在住で同区々長も務められ、前任者の中途辞職のため19年3月から補欠委員を務められていました。
(全員賛成同意)

4条例の一部改正

地方自治法一部改正に伴う、関係する町条例の整備として、「議員の報酬等条例」・「特別職報酬等審議会条例」・「非常勤特別職報酬等条例」・「議会広報特別委員会条例」の字句や引用条項を改正します。
(全員賛成可決)

地縁団体印鑑 条例の一部改正

一般・公益社団法人及び財団法人認定等法施行に伴い、地方自治法の認可地縁団体規定が改正され、それに伴う町条例の改正です。
今まで地縁団体は民法の規定が多く準用されていましたが、地方自治法で具体的に定められたため、町条例の引用する法・条項を改正します。
(全員賛成可決)

公益法人等派遣 条例の一部改正

前項の法施行に伴う、町条例の題名と字句の改正です。「公益法人」が「公益的法人」となります。
(全員賛成可決)

職員懲戒条例の 一部改正

地方公務員法の規定を引用する条項の改正です。(全員賛成可決)

手数料徴収条例の 一部改正

戸籍法一部改正に伴う、同法からの引用条項の改正です。
戸籍法の改正で戸籍等証明書の交付請求が制限され、本人確認も追加されました。
(全員賛成可決)

古賀葬祭場の 組合規約変更

地元の要望により組合で検討してきた名称の変更で、「北筑衛生施設組合」から「北筑昇華苑組合」になります。

また「組合立古賀葬祭場」を「葬祭場」とします。
(全員賛成可決)



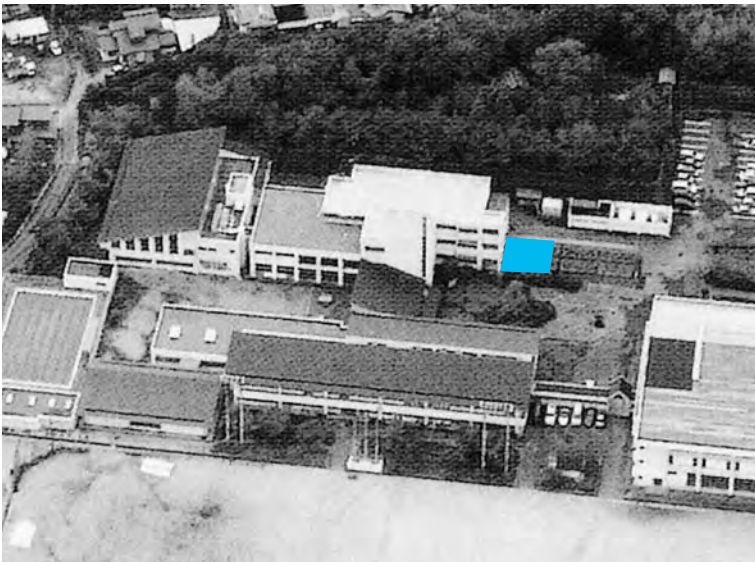
古賀葬祭場

北中学校舎を増築

篠栗北中学校区の生徒数増加で来年以降不足するため、普通教室を3室増築します。普通教室棟（南側校舎）の西側非常階段に続けて鉄筋コンクリート3階建てです。建築面積は、各階の教室と廊下で312㎡、非常階段を屋内にする改修が132㎡です。

6社による指名競争入札の結果、株式会社飯田工務店と7339万5千円で契約します。落札率は94.71%、請負率は89.96%です。増築部が建坪65万円、階段改修部が建坪29万円です。また国庫負担金が1128万円交付されます。

（全員賛成可決）



篠栗北中学校（■部分に3階建ての校舎を増築）

一般会計補正予算（補正額は下表）

- 歳出の主なものは、
- 町道整備事業（山王荒田線法面・乙大地区舗装・町民体育館前交差点隅切・乙犬中園線設計） 3850万円
 - 電算システム変更委託料（年金から住民税特別徴収のため） 1238万円
 - オアシス篠栗指定管理料（プロパンガス高騰のため） 777万円
 - 公民分館整備補助金（尾仲・津波黒・田中分館のエレベーターやトイレ整備費の一部） 505万円
 - 消防団操法県大会出場費（本部班） 305万円
 - 児童手当（不足分） 1517万円
 - 補助金返還（19年度実績確定で国や県へ） 1158万円
 - 特別会計繰出（国保と老保へ） 1086万円
 - 歳入では、
 - 公共事業整備基金から繰入（町道整備事業に） 1200万円
 - 国庫支出金（児童手当に） 1174万円
 - 他は地方交付税・繰越金・諸収入などです。（全員賛成可決）



福岡県消防操法大会

国保特別会計補正

- 歳出の主なものは、
- 退職被保険者等高額医療費（前期高齢者交付金で同額が歳入） 2500万円
 - 退職被保険者償還金（19年度分確定） 3262万円
- （全員賛成可決）

老保特別会計補正

- 歳入は、
- 19年度国庫・県費補助金償還金（一般会計から繰入） 994万円
- （全員賛成可決）

発議

全員協議会を
会議規則に明記

議員全員の発議による、地方自治法改正に伴う篠栗町議会会議規則の一部改正です。今まで議員全員協議会は会議規則に位置づけのない任意の会議でした。今回、「議案審査または議会運営の協議・調整を行う場」として明記する規則改正をします。

（全員賛成可決）

9月議会補正予算

（千円単位四捨五入）

	補正額	補正後予算額
一般会計	1億935万円	88億3,612万円
国保会計	6,429万円	30億9,380万円
老保会計	994万円	3億5,371万円

請願

郵政民営化法の見直しを求める意見書採択のための請願

請願者

全国郵便局長会

篠栗郵便局長

大田 修司

紹介議員 荒牧 泰範

(全員賛成採択)

教育予算の確保と充実に求める請願

請願者

篠栗町大字和田

910-175

一ノ瀬 祐子

紹介議員 今長谷 透

村嶋 秀樹

(全員賛成採択)

「協同出資・協同経営で働く協同組合法」の早期制定の意見書提出を求める請願

JR香椎線(西戸崎(宇美)の電化・複線化の請願

請願者

JR香椎線の電化・複線化建設を実現する会

代表

大音 重親

紹介議員 永柄 邦彦

草場 謙次

(継続審査に賛成多数)

賛成10反対1

(賛成多数採択)

賛成8反対3

陳情

「鳥獣被害防止特措法」関連予算を、鳥獣捕殺ではなく自然林復元と被害防止に使うこと等を求める意見書提出に関する陳情

陳情者

日本熊森協会

会長 森山 まり子

(修正案で)

賛成多数採択

賛成10反対1

国旗掲揚に関する陳情

陳情者

国旗掲揚推進会議

『福岡』代表世話人

津田 建一

(賛成少数不採択)

賛成1反対10

国旗掲揚に関する陳情

反対討論

村嶋 秀樹

この陳情は、町議会に国旗掲揚を求めるものです。

現在、議場には篠栗町のマークが掲揚され、議員も出入りや壇上で発言の時は町章に礼をしています。これは、町民の代表としての町民の利益や福祉を守るために審議することの象徴的行為です。国旗を議場に掲揚し、国会の意向を尊重し意思決定すべきではありません。

陳情の趣旨には、社会的・政治的に解決すべき問題を、国民が国旗の下に一致団結すれば解決できるような非常に誤った認識があります。まるで戦前の国旗が国民統合の象徴として、国民を戦争に突き進ませた論理と同様です。

7月臨時会

7月24日

本臨時会には6月定例会で否決された条例の修正案1件が上程され、全員賛成で可決しました。

重度障害者医療費

支給条例を可決

6月定例会で否決されていた条例案では、入院の自己負担月上限日数を一般・低所得者とも20日としていましたが、修正案ではそれぞれ10日に変更されました。

(全員賛成可決)

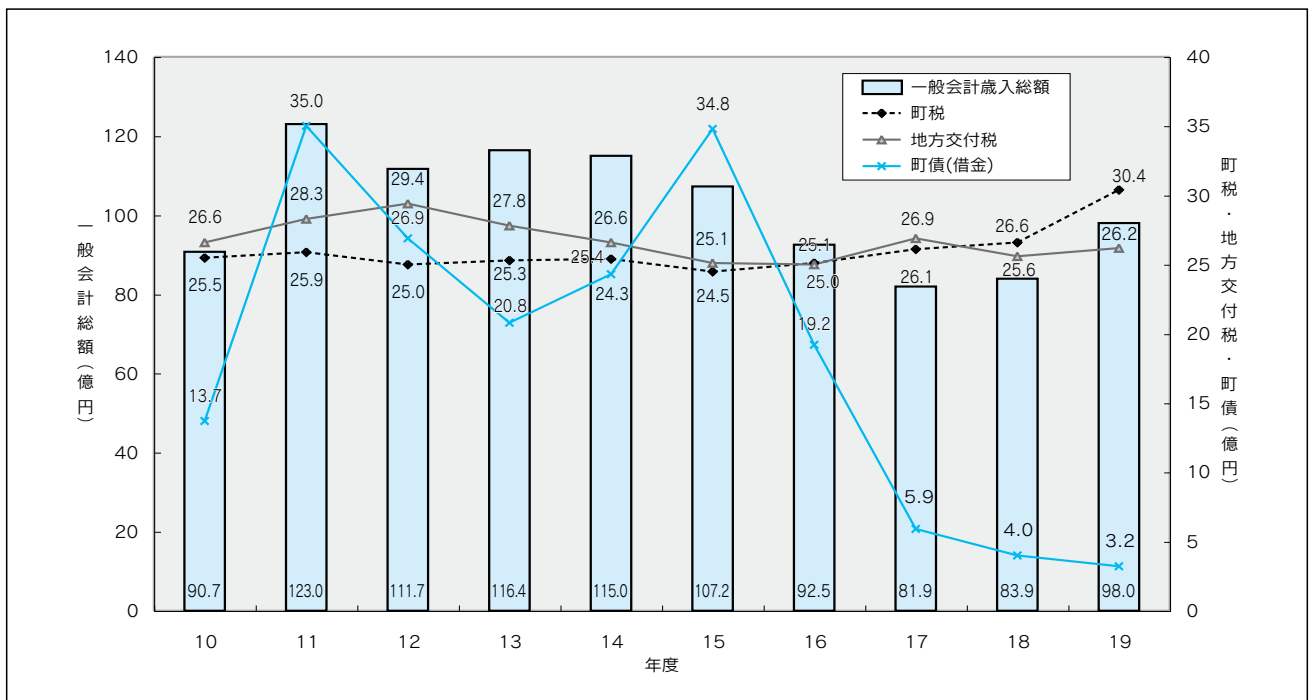
グラフで見る

篠栗町の10年 (No.2)

9月議会で平成19年度決算が全員賛成で認定されました。前号に続き、決算に関するここ10年間の数値の変化をグラフにしました。

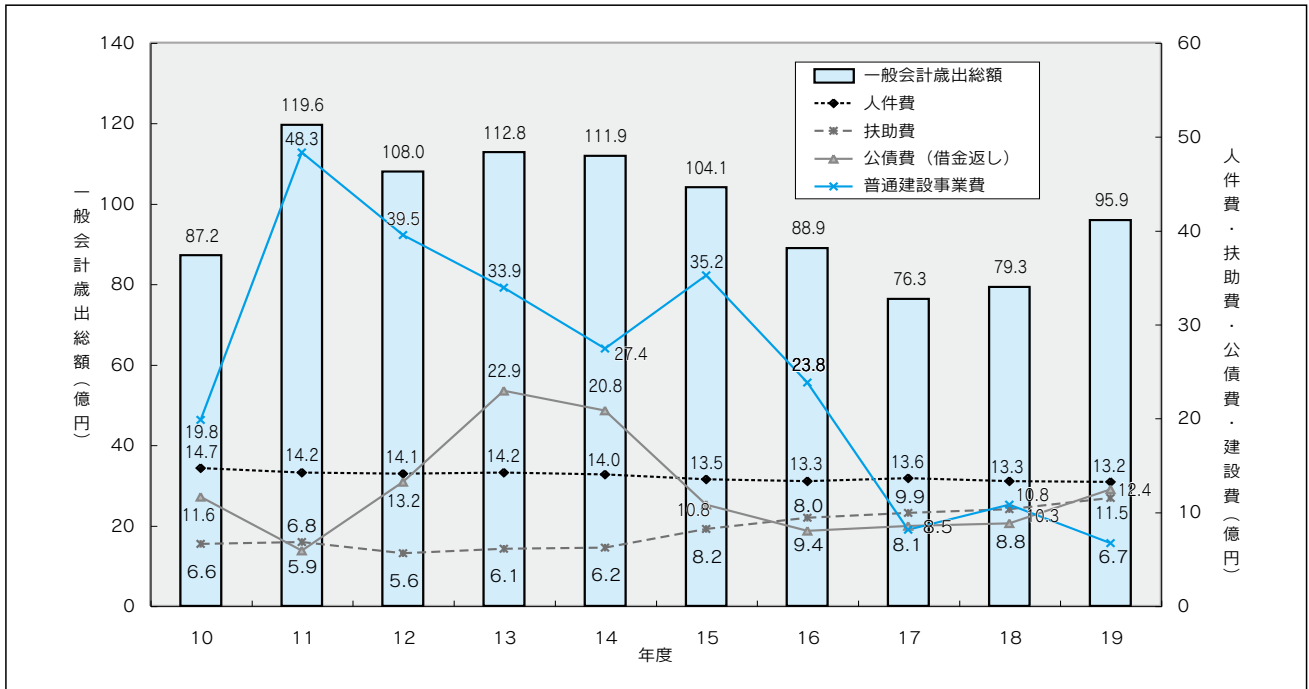
- ・グラフ5は、町一般会計歳入総額と主な歳入の変化です。
- ・グラフ6は、町一般会計歳出総額と主な歳出の変化です。
- ・グラフ7は、町一般会計の積立金（貯金）と地方債（借金累計）の変化です。
- ・グラフ8は、財政指標の経常収支比率と財政力指数の変化です。

グラフ5 一般会計歳入総額と主な歳入



- ・歳入総額は、平成11～15年度では100～120億円台の高い水準で推移しています。17～18年度は80億円台まで落ちています。19年度は基金組み替えの影響で高い水準となっていますが、実質は82億円ほどです。
- ・町税は、25億円ほどで推移してきましたが、17～19年度でかなり上がっています。これは三位一体改革などの制度改革によります。
- ・地方交付税は、12年度の29億円台をピークに16年度25億円まで下がり、以後若干の回復をしています。
- ・町債（借金）は11～15年度で20～35億円の非常に高い水準で推移しています。17年度以降は3～5億円に抑制されています。借金額の影響で歳入総額が高い水準だったことが分かります。

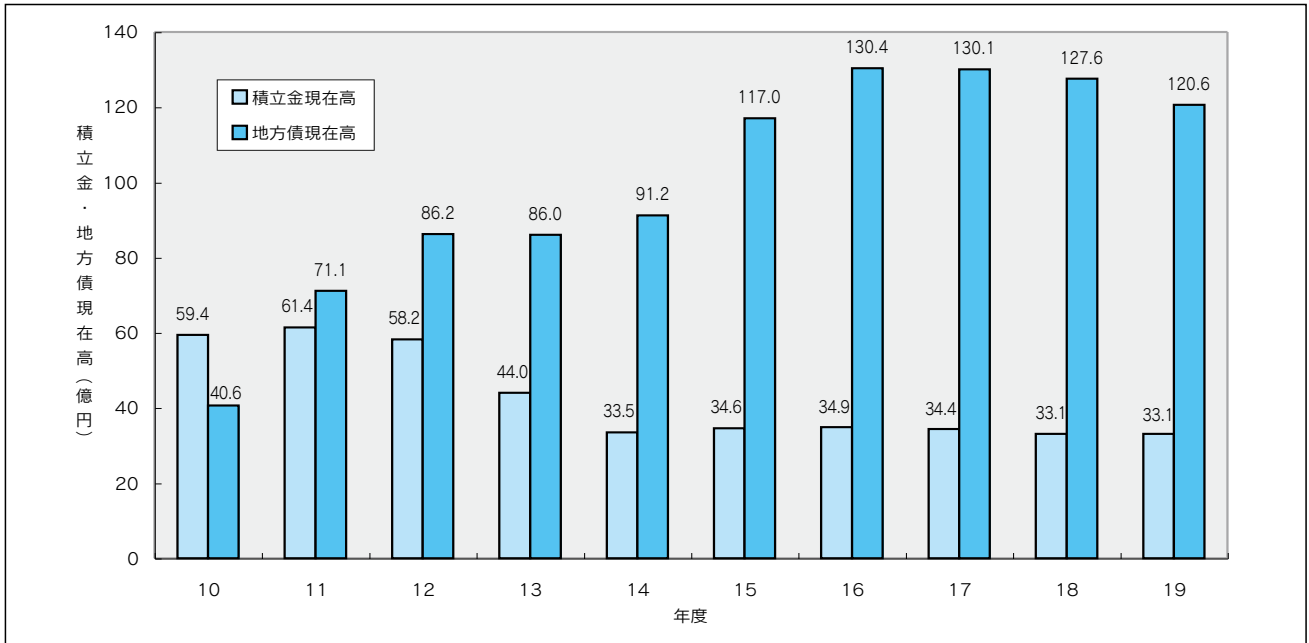
グラフ 6 一般会計歳出総額と主な歳出



- 歳出総額は、歳入と同様に平成11～15年度では100～110億円台の高い水準で推移しています。16～18年度は70～80億円台まで落ちています。19年度は歳入と同じく基金組み替えの影響で高い水準となっていますが、実質は80億円ほどです。
- 人件費は、この10年間で1億5千万円ほどが少しずつ削減されています。
- 扶助費（社会福祉費）は10～14年度は5～6億円台の低い水準でしたが、15年度以降確実に増加し、19年度は11億円台にまで増えています。
- 公債費（借金返し）は、12～15年度は高い水準で推移していますが、金利の高い借金の繰上償還が積極的に行われたためです。16～18年度は8億円台で微増し、19年度は繰上償還分2億4千万円ほどを除いて実質は10億円ほどです。公債費の実質部分は21年度の11億5千万円をピークに、以後も5年間は11億円ほどが続く予測です。
- 普通建設事業費は、11～16年度は27～48億円台の特に高い水準で推移し、17～19年度は6～10億円台に削減されています。普通建設事業費と公債費の影響で歳出総額が高い水準だったことが分かります。

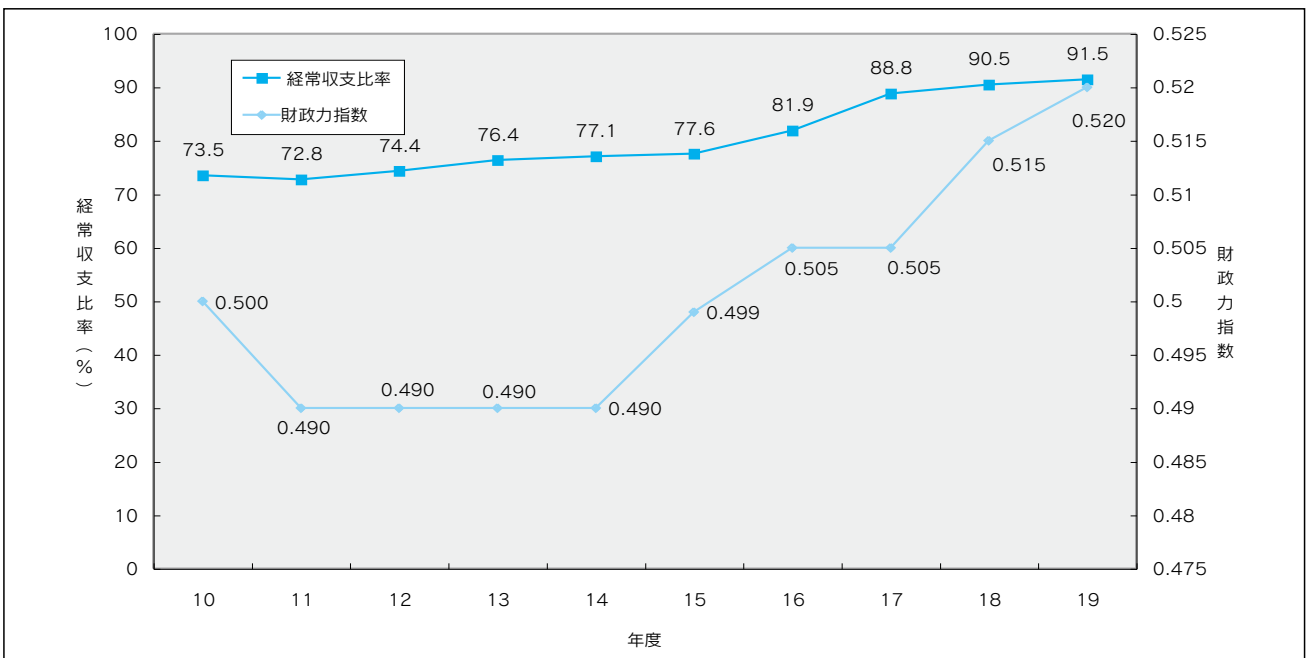
* 19年度から財政健全化法に基づく新しい財政指標として「実質公債費比率」が導入されました。篠栗町は、新聞によればこの指標が九州管内トップの良い数字です。しかし、これは臨時経済対策債などの交付税算入は15年間で終わりますが、借金返済期間を30年間前後とした前町長時代の方針により、最初の15年間の交付税算入分を除く各年の実質借金返済が異常に少ない額となっているためです。この指標は以後悪化を続け、交付税算入が終わる29年度以降は先送りした借金をすべて自前で返さざるを得なくなります。借金返済の指標である19年度の「公債費比率」は粕屋地区区内中位の数字です。

グラフ7 一般会計の積立金（貯金）と地方債（借金累計）の現在高



- ・ 積立金（貯金）は、11年度に61億円台でしたが、14年度までに33億円台まで減少し、以後は若干の増減です。
- ・ 地方債（借金）は、10年度に40億円台でしたが、16年度に130億円台まで増え、17～19年度で10億円近く減らしています。しかし、今後返すべき借金額を標準財政規模で割った地方債現在高は粕屋地区内1市7町で最悪です。
- ・ 11～15年度の歳入での町債（借金）、歳出での建設事業費や公債費の繰上償還が、貯金額を大きく減らし、借金額を大きく増やしたことがわかります。

グラフ8 経常収支比率と財政力指数



- ・ 経常収支比率は、15年度までは70%台で微増してきましたが、16～17年度は80%台、18～19年度は90%台まで増え続けています。これは経常経費のうち扶助費（社会福祉費）、公債費（借金返し）、補助費等（一部事務組合等負担金）が増え続けているためです。経常経費のうち人件費・物件費などは削減しています。90%台の数字は危険域ですが、粕屋地区内は全て90%台です。
- ・ 財政力指数は、11～15年度は0.4台で低迷していましたが、16年度以降0.5台を回復し、以後伸びています。この指標は1に近いほど自主財源が多く、財政力に余裕があることを示します。篠栗町は粕屋地区内では最下位です。

阿高紀幸



防災の見直しと防災工事を

町長『見直しを含め防災力向上に努める』

問

今年に入って、全国各地で温暖化の影響と思われる、1時間に100ミリ以上というゲリラ的集中豪雨が発生し、大きな災害をもたらしています。我が町も防災マップなど作成し、各家庭に配布し避難場所や危険箇所など明記されていますが、これだけで大丈夫なのか心配しています。

消防団員のサラリーマン化による人員確保、個人情報への壁による、高齢者、独居老人や地域住民の連携、また住宅地の危険箇所の告知など見直しを図るべきではないでしょうか。

平成11年の集中豪雨で乙犬地区でも河川の氾濫で床下浸水の被害が出ていますが、今後どのような対策を考えていますか。

答

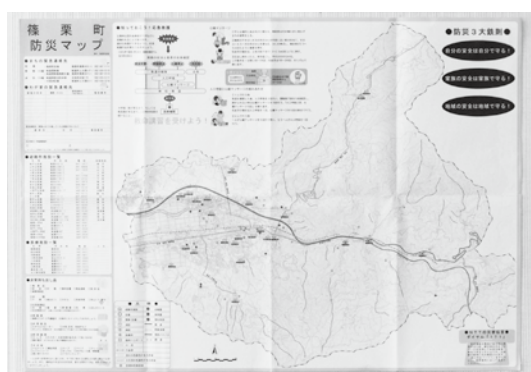
【町長】

地域住民が行動と安全を普段から考えていくことが、地域防災力を高めることになりま

す。町では各区の要請を受け、地域防災の呼びかけや図上訓練、避難訓練を行っています。

平日の消防団員の確保は難しい状況で、地域住民を中心とした自主防災組織と消防団が協力できるよう取り組みを進めます。

また、高齢者、独居者、障がい者など個人情報保護の関係で問題



防災マップ

問

今回の全国学力テストで福岡県の成績は、小学校部門ですべて全国平均を下回り、中学校では国語A以外すべて全国平均を下回っている結果が出ています。福岡県の教育情勢は、惨たんたる思いです。

我が町の学校の結果は、小中学校での学校間の学力格差はあった

全国学力テスト 結果分析と対応は 教育長『学校関係者と連携し 取り組む』

【建設課長】

乙犬地区は昨年度概

略の調査設計業務を行い、現況の通水能力など計画水路の検討をしました。概算工事で7億円程度、整備期間は長期化します。緊急度の高い箇所から整備していきます。

のか、教育委員会の今後の対応と子どもの生活習慣と成績の関連について答弁を求めます。

答

小学校では、多くの設問で全国平均を下回り、中学校では92問中、全国平均を上回ったのは70問でした。

この結果を学校関係者は真摯に受け止め、

教育委員会・学校・家庭が連携し、課題解決に全力で取り組んでいきます。

学校間の学力に、大差はありませんでした。今後学力向上支援員などを活用し、児童・生徒に必要な知識・活用能力を身につける放課後の補充的サポートを行い、つまづき状況に応じた指導を充実させる学校支援を教育委員会で行います。

教師には、わかる・表現力を高める授業の研修で、実践的な指導力向上を図ります。

生活習慣と成績については、相関関係があると思います。適時課題を出して、家庭学習の充実を図っていきます。また、手引きの作成も検討します。

大楠 英志



篠栗町の雇用対策は

町長『商工会と一体で進める』

問

戦後最長の景気が終息を迎え、景気は横ばい下降基調と報じています。会社の倒産・リストラで職を失い、困っている人を多く見聞します。そこで質問します。

①税金の滞納や、生活保護世帯の実態を尋ねます。

②雇用対策を尋ねます。シルバー人材センター等での仕事を増やし雇用の拡大を進めてはどうですか。高齢化社会にむけてシルバー人材センターの法人化を促すべきではないかと考えます。答弁を求めます。

答

今年の4月以降、諸物価の高騰で生活実感として本当に苦しくなつたと思います。

①町独自の失業率は福岡都市圏の指標とし

ては全国平均よりやや上回っています。失業率と税金滞納の関係把握は困難です。生活保護世帯は平成13年3月末263世帯、20年3月末305世帯で42世帯の増加です。

②商工会と連携をとり一体となつて進めるべきと考えます。

シルバー人材センターは入会規定が60歳以上です。会員数は215名となり法人化に向け事務局・経理事門職等の配置が進んでいます。今後、就業機会の開拓に営業努力する必要があります。法人化には補助金1000万円の積み増しが必要で、これに合う費用対効果や事業内容の協議を進め慎重に対応します。

森林環境税の活用は

町長『理解・協力を得ていく』

問

平成20年度から福岡県で、森林環境税が導入されています。

この事業は県民一人当たり年額500円の県民税を徴収し、法人は資本金に応じ年額2万円〜80万円を徴収します。この税で、荒廃した民有林を再生し、森林の働きを発揮する健全な状態で次世代に引き継ぐものです。

町の約7割が山林の篠栗町には、大変有益な事業と思います。

近年山林従事者の高齢化による労働力の減少や、木材価格が低迷する中、山林の荒廃が進んでいます。

この事業を山林所有

答

者にPRし、荒廃山林の整備を進めるべきと考えます。取り組みを尋ねます。

県では荒廃森林約2万9000haを再生させるため10年間で130億円の費用を見込み、森林環境税で調達します。

期間は平成20年度から29年度までの10年間、対象は過去10年以上施業がなされず、荒廃したスギ・ヒノキ林と規定されています。

篠栗町には約2170haの人工林があり、未整備が660haあります。荒廃した山林を再生して森林の

公益的機能を回復させる必要があります。

対象森林があれば町の産業観光課に連絡をいただき、荒廃森林であるかの現地調査を行い判断します。認定されれば、森林所有者と協定書を締結して事業の推進をします。

今後とも広報、会議等で理解・協力を得たいと考えています。



森林環境税のパムフレット

松田 國守



「篠栗九大の森」整備構想は

町長『覚書を締結、22年度開設を目指す』

問

平成17年3月「九大演習林の蒲田池周辺を散策路に」と一般質問した経緯があります。

三浦町長は「難しい状況ですが、我が町が有効に使えるような絵を提案し、交渉していきたい」との答弁でした。

そしてこのたび、九大と篠栗町が協力して構想を進める運びとなりました。その進捗状況をお尋ねします。

地元住民が利用するには町道の和田線を横断しなければなりません。この道路は、特に朝夕は通勤者の車両が激しく行き交い、きわめて危険です。ぜひとも万全な安全策を講じていただきたい。

なお、構想図には、出入口が松浦台側からの2か所のみとなっています。津波黒側からの出入口も考慮していただきたいと思います。見解をお

尋ねします。

答

この構想は、演習林西側の蒲田池周辺17haを、環境学習、自然とのふれあいの場、健康づくりの場として公園化し、遊歩道を整備して、近隣住民に開放するものです。

すでに「森林整備と共同管理に関する覚書」を締結し、平成22年度開設を目指しています。当町が認定を目指している森林セラピー基地の拠点にもなると思います。

利用全般にわたる安全管理は、地域の皆さんと九大演習林及び町で協議していきたいと考えています。

南側出入口については、2次的に交渉したいと思います。

著書「友情」を問う

町長『一部の人たちが暴走した事業と総括』

問

この本は以前「発刊経緯が不適切」と村嶋議員が指摘した著書です。今年6月、今長谷議員が「この本を道徳教育に活用しては」と一般質問されました。

また、同時期に投函された、ある後援会の討議資料にも「友情」のことが載っています。

この本は16年度の当初予算では旅費のみが予算化され、印刷製本費は計上されず、その後の補正にも上げられていません。また、副読本としながらも教育委員会に説明もなく、議会の審議もなく作成されています。

起案から発行までの

経緯の説明を求めます。

答

作成費用の98万7千円は、当初予算に計上されず、その連合審査会でも一切審議されていません。その後の補正予算計上もありません。

この費用は図書館費の視聴覚備品購入予算から問題ある流用がされています。議会軽視も甚だしい流用です。

2点目の問題は、「友情」が、その1年前に出版された木暮正夫先生著書の「救出 日本・トルコ友情のドラマ」とよく似た内容という点です。「救出」は16年6月に篠栗町図書館に

納品され、今も本棚にあります。教育委員会で協議・調査されていれば、この「救出」が副読本になっていたとも考えます。

「友情」の本の内容はともかく、補正予算にも計上せず、議会でも審議もせず、教育委員会にも説明しないまま、一部の人たちが暴走した事業と総括します。残っています300冊余の「友情」の処理は議会と協議して行います。



「救出」

「友情」

荒牧 泰範



新たな指標を含め 財政に対する意見を

監査委員『特に意見はありません』

問

財政健全化判断比率の報告において、将来負担比率と言う特別会計を含む町全体の財政を判断する指標が国より新たに提示されています。

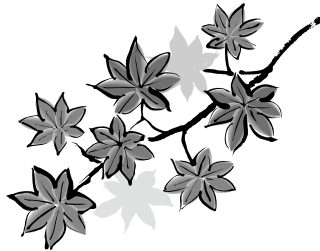
この基準値が350%に対し当町は72.2%であり、この数値は糟屋管内で3位という位置にあります。また実質公債費比率は2.3%、起債制限比率は1.5%でどちらも管内1位であり県内トップクラスです。他自治体と同様に経常収支比率の悪化が見られますが、当町は全体としてすこぶる健全な財政運営だと思います。

今回の監査報告で他の自治体では「特に指摘すべき事項はない」等の意見が添えてありますが、当町の報告では単に数値の算出の適正さにとどまっております。今後の財政判断

上、大切な指標となりますので是非とも代表監査の意見を伺いたいと思います。

答

法的規定はなく監査委員裁量であり、「指摘事項なし」と書く必要はございません。また、特に意見はありません。



起債状況を問う

町長『さらなる健全化を進める』

問

国県からの厳しい締め付けの4年間、町の舵取りは大変苦労されたと思います。徹底した緊縮財政のおかげで、他自治体が基金の取り崩し等を行う中、財調・減債基金をわずかではありますが増額し、繰越金も確実に捻出されております。

ただここでお尋ねしたいのは、先ほどの財政指数が良好な状態にあるのは、過去において土地購入も対象となる上、事業費もほぼ100%認められ、算入率45%の臨経債などを有効活用し、なおかつ48億もの繰上げ償還で、負債総額の70%が

交付税措置され、実質負債残が42億で必要な施設がほぼ完成し稼働率もすこぶる良好な上、交差点改良や保育施設地提供が可能であることについての意見を、当時の町政を担っていた一員として町長にお尋ねします。

答

11年度から発行されました臨時経済対策債は、一般の起債から見ても有利なもので、この起債を使って平成12年度から16年度まで合併50周年記念体育館など色々な施設が建設され、またそれらの稼働率も良い事は評価されることと思います。

経済の疲弊に対応するための対策事業として、国の方針に沿って積極的に行ったものであったと理解しています。

しかし、その後も経済は厳しさも深刻さも募らせており、国の方策によって大きく影響を受ける中で、町財政への取り組みは、普通建設事業には優先順位をつけて、また新たな歳入の研究もしながら、起債の繰上償還を考えていき、きめ細やかな方策を考え、さらなる健全化を進めます。



村嶋 秀樹



三浦町政の一期4年を問う

町長『財政状況の厳しい中、
行財政改革を進めた』

問

4年前、三浦町長は様々な改革を掲げ、多くの支持を得て町長に就任されました。行財政改革の視点から尋ねます。

- ① 自らまず改革した町長車廃止・町長交際費削減・特別職給与減額の削減効果は。
- ② 職員数削減・職員給与見直しでの人件費総額は。
- ③ 旅費・日当・費用弁償見直しの削減効果は。
- ④ 町補助金の削減効果は。
- ⑤ 入札制度改革での削減効果は。
- ⑥ 建設事業を必要最小限にしたことでの事業費は。
- ⑦ オアシス篠栗指定管理者移行での活性化と削減効果は。
- ⑧ し尿終末処理委託を福岡市から「洒水園」にした削減効果は。
- ⑨ 保育園建設を私立保育園建設補助とし、2保育園が完成。町立

保育園建設と比べ町負担建設費の削減効果は。

町立保育園と私立保育園の町負担運営費は。

⑩ 10年間の町一般会計借金額と貯金額の推移は。

⑪ 三浦町政の一期4年は、きめ細かな行政が行われ、財政的に厳しい中、経費削減に努め町借金を減らし、協働のまちづくりが芽吹きました。総体的な自己評価は。

答

① 特別職用庁用車は入札で売却し維持費を削減しました。町長交際費は16年度247万円、19年度89万円です。特別職給与は、町長5%、助役・教育長3%を減額し、2年間で275万円削減しました。現在約2倍の削減中です。

② 職員数は174人を165人へ目標以上に削減しました。一般職人件費総額は16年度11億9300万円、19

年度11億7300万円です。

③ 年間1千万円です。

④ 1500万円です。

⑤ 1千万円以上の工事、17年度に比べ18年度4700万円、19年度4500万円の削減です。

⑥ 16年度23億円、19年度6億円です。

⑦ 入浴者数他は10%前後の増加です。削減は3年間で2千万円の見込みです。

⑧ 6千万円です。

⑨ 2億1800万円です。定員150人の町立保育園は運営費8千万円、300人の私立保育園は4千万円です。

⑩ 借金額は10年度40億円、16年度130億円、起債を抑え繰上償還を行い19年度120億円です。貯金額は10年度59億円、15年度34億円、19年度33億円です。

⑪ 厳しい財政状況の中、町民・町・その未来のため、どう舵を取るか課題でした。行財政改革を進め削減効果を出し、歳入では町税徴収率アップや預金の効率的運用も研究しました。建設事業では緊急度や要望の高いものを進めました。

県教育委員会に 要望すべきでは

教育委員長『協議・検討します』

問

町教委は県教委へ次の要望を行うべきでは。

- ① 教職員の採用・昇進での積極的情報公開。
- ② 県教委を機能化。不正を生む可能性がある採用・昇進決定システムの改善。
- ③ 管理職任期制の導入。教育現場へ。
- ④ 形式的な管理の軽減。
- ⑤ 国教育予算を増額。30人学級の実現。施設整備・就学援助の充実。
- ⑥ 職員会議を、教育課題を真摯に話し合う

場。

⑦ 市町村教委に教職員異動の権限移譲。

⑧ 教職員異動の周期を永く。

⑨ 広域異動をやめ居住町か隣の学校に勤務。

答

市町村教委協議会で県に要望書を提出しています。その他は協議・検討します。

草場 謙次



地産地消を進めるべきでは

町長 『地域農業のビジョンをつくる』



オアシス内の直売所

問

現在、消費者の方々は食の安全性と新鮮さを求めて、他町まで買に行かれると聞いています。篠栗町では農家の人手と後継者がいないため、作物の生産量が少ないのが現状のようです。

現在、町にはどれ位の休耕田、作られていない畑がありますか。これらの立派な田畑を休ませているのは非常にもったいない気がします。

ドの一つの完成であります。これから先は、行政が真剣に消費者と生産者のことを考え、地産地消を進めていくべきだと思いますが、町長はどのように考えられますか。

答

食の安全が今ほど求められる例は、過去に見たことはありません。農業の活性化の観点から地産地消の推進については同感でもあり、食の安全の意味から行政が取り組むべき重要課題の一つだと思います。

我が町の田は302haありそのうち休耕田

は67ha、畑48haのうち遊休化は10haです。

現在町にはこのような問題を取り扱う統括の機関がなく、関係する各課で研究会を発足しています。

昨年10月よりオアシス篠栗内にも地産地消を目指す直売所をオープンし、「ささの会」が作る漬物、味噌など、手作りのなつかしい味も並んでいます。

学校給食においても篠栗町で採れた米と野菜を給食で使えるよう

関係者で試験的に今年度内の実施を目指しています。進め方が重要であり、ある程度の量を継続的に確保するために安定的に供給できるシステムづくりが欠かせません。

農業生産者の意見を十分くみ上げ、事業拡大に向けた、地域農業のビジョンをつくりあげていくために、各方面からのお知恵をいただき積極的に取り組んでいます。

ボランティア活動の

現況と今後は

町長 『まちづくりボランティアを

中心に進める』

問

町長就任前に「大切に篠栗町」、「協働の町づくり」等を提言され、竹林整備、12のウォーキングコースづくり等、

多数のボランティアの方々の協力のもと、着実に進めておられます。これまでのボランティア活動の現況と今後新しい事業なども含めて

のように進めていかれますか。

答

18年度に、行政とともに活動していただくまちづくりボランティアの登録制度を発足させ、竹林整備、12のウォーキングコースづくり等、延べ402人の方の協力を受け活動しました。エコウォークは11回開催し、延べ472人の方に参加していただきました。

住民の健康増進につなげる新しい事業として森林セラピー基地が認定されたら、篠栗の山々の大いなる森の力、効果を人々の健康に生かす試みとなります。この森林セラピーの事業には新たなボランティアの協力が不可欠となります。これからもまちづくりボランティアの方々を中心に進めていきます。

日本共産党
永柄 邦彦



RDF 処理委託費の問題と今後は

町長『県・発電所・加入組合と
協議を図る』

問

平成14年に始まった大牟田RDFゴミ発電事業は、トラブルやRDF焼却灰の資源化失敗による経費増で、RDF処理委託費はトン当たり50000円から2度も値上げされ、9500円と倍増しています。また各自治体のゴミ減量化に伴う減収で、近々3度目のRDF処理委託費の値上げが予想されます。発電所自体も6年連続赤字で、累積赤字は7億8000万円になります。

大きく求めます。また、9年後の契約期間終了時を含め、今後のゴミ行政について、どのようにするのか見解を伺います。

答

指摘のように、大牟田リサイクル発電所の財政事情は非常に厳しいものですが、今後もRDF単価が維持できるように、県・大牟田リサイクル発電・加入組合と協議を図っていくたいと考えています。クリーンパークの今後は、粕屋5町ゴミ処理に関する覚書において、稼動5年をめどに次期処理施設の検討をすることになっていきます。

町主催の平和行事の実施を

町長『粕屋町を参考に検討する』

問

今年の8月で、広島長崎への被爆から63年になりました。

粕屋町では、毎年8月4日から10日までの1週間を「粕屋町平和週間」として予算を組み、平和週間パンフレットを全世帯に配布されています。

原爆パネル展は「サンレイクかすや」のほか、JR長者原駅や原町駅でも展示されています。また平和週間の看板も各駅に掲げ、町民にわかりやすくなっています。

篠栗町は「非核・恒久平和宣言の町」であり、戦争や原爆を風化させないためにも、町主催の平和行事の実施

が必要ではないでしょうか。町長の見解をお伺いします。

答

これまで町の平和事業の取り組みとしては、原水爆禁止の平和行進への激励をはじめ、毎年秋には戦没者

追悼式を開催しています。戦争や原爆の悲惨さを風化させてはならないと考え、8月6日・9日は広島・長崎に原爆が投下された時間に合わせ、追悼のための黙とうを町民の皆さんに呼びかけています。



非核・恒久平和宣言の町

今長谷透



新感覚で独自の 介護予防事業を

町長 『町の特殊性も考え検討』

問

佐賀県唐津市でユニークな介護予防事業を運営されております。

概要は、65歳以上の介護保険1号被保険者の方で何ら認定を受けていない元気な高齢者の方々が、市長が認定する施設でボランティア活動すると1時間につき100円として換算され年間5000ポイントで、つまり50個を上限に楽しみながらボランティア活動に参加できます。年度内で5000円を上限に報奨金が交付されます。

これらを参考にしたところの新感覚で臨む本町独自の介護予防事業の導入を提案し、町長の見解を求めます。

答

介護支援ボランティア制度は、活動を通じて社会参加や地域での貢献を積極的に支援し、高齢者自身の健康

増進、介護予防の推進を図っていき地域の活性化や住民同士の繋がりの強化をも図り、高齢化社会を乗り切る地域づくりの手段になる可能性もあると思います。

制度の導入につきましては、先進事例を調査し対象となるボランティア活動（範囲・場所・登録の仕方・ポイントの管理）など関係団体と協議しながら、また、いきいきサロンで頑張っておられる福祉協力員のあり方等々、町の特殊性も考えながら検討する必要があります。

有吉武喜



遺贈金の疑問点と 遺贈者への対応は

財政課長 『後見人との協議はこれから』

問

① 遺贈金の総額は6212万4928円に間違いはないか。

② 遺贈には遺品もあり貴金属とか位牌も含まれるが、どのような方法で確認されたか。

③ 遺贈者の供養はどうなっていますか。

④ 「遺贈金について、裁判所の処理とか經由なくして、一切、町といえども、公的機関といえども手を出すことはできません。だから、誰も不正はできません」と答弁され、6月議会では、引継書なしで換金できると、矛盾した答弁を行っているが。

⑤ 遺贈金に関する処理が終了したと広報で報告した後の8月4日に、後見人に今後の処理について打ち合わせをしたいと言われたそうだが、言動に矛盾があるのでは。

答

【町長】

① そのとおりです。

② 後見人からの裁判所への報告が終了していません。報告があれば遺品の有無がわかります。

③ 後見人のご理解と議会で承認されれば、仏の里・篠栗で、何らかの供養をさせていただくことも一つの方法と考えます。

【副町長】

④ 引継書なしで遺贈金の手続きを進めることは違法でなく、矛盾はしていません。

引継書の存在は、相続開始の法的条件ではなく、手続きに瑕疵はありません。

【財政課長】

⑤ 基金積立の処理終了と、今後の後見人との協議は別次元のことです。話し合いは始まったばかりで、これからも真摯に話し合いを進めます。

研修報告

1日目

下條村役場

研修目的

村民との協働の村づくり

下條村は、全国的に出生率が下がる中、「出生率が上がった村」「単独で生き残る村」とマスコミに取り上げられ一躍脚光を浴びました。

10年前に人口が4千人を切ったことに危機感を持った伊藤村長は、「人口を増やす」を公約に掲げ諸施策を実行されました。現在4195人に増えています。総務課長から施策の説明を受けました。

○村営住宅の建設

若年層向けに民間の2分の1ほどの家賃で、鉄筋コンクリート3階建ての村営住宅を9棟建設し、全室112戸が入居されて

います。公募での入居は応募者が多く、「子どもができる見込み」「消防団に入団」「地域行事へ積極的参加」などが条件です。

○村分譲宅地の販売

定着住民を増やすため、村が格安で分譲する宅地も40区画完売しています。

○子育て支援

村内に図書館や室内プールの建設、中学生までの医療費無料化などもされています。

○役場職員削減と民間研修

役場職員を10年前の60人から37人に削減し、民間サービス業で職員研修もされています。

○住民が道路整備

道路舗装などの軽易な工事は、村が材料を支給し住民ボランティアで整備されました。村内の必要な舗装はす

べて終わっています。職員削減やボランティア工事で諸施策の財源を捻出されています。

○光ファイバーで防災無線やケーブルテレビ

屋外防災無線や各戸音声告知を迅速で正確にできる情報通信基盤の整備や、ケーブルテレビとインターネット接続環境整備に19年度から取り組まれています。

篠栗町と自治体規模が違いますが、職員民間研修、協働の村づく



下條村での研修

り、合併をしない村民合意の形成など、村長のリーダーシップや職員のガンバリも見習うべきです。

2日目

愛知県知多市
佐布里「緑と花のふれあい公園」

研修目的

「篠栗九大の森」構想のための現地視察

知多市は平成3年から佐布里水源池の周りを緑の拠点として公園整備をしてきました。レストラン・売店・展示室や実習室・温室などの施設もあり、池の周りと森をめぐる遊歩道や花壇・梅林・東屋なども整備されています。公園面積は8.0ha、今までの総事業費は23億円です。遊歩道をめぐり見学しまし

た。

「篠栗九大の森」は、池周りの自然林遊歩道の予定ですから、この公園は少し整備されすぎです。貴重な自然林を壊さず自然観察ができるような公園、市民の癒しの場となる公園にしたいと思います。



佐布里の「ふれあい公園」

View of SASAGURI

篠栗の眺望



表紙写真は、緑と清流に囲まれた萩尾分校をバックにコスモスが揺れています。分校には数人の子どもたちが通っていますが、自然の中でのびのびと育ち、コスモスの花のようにそれぞれ個性を生かしてほしいと思います。

裏表紙は萩尾盆地に咲き誇る彼岸花です。篠栗にもすばらしい棚田があることを知りました。

彼岸花はお墓の周りによく咲いていますが、その根には猛毒があり、モグラなどに墓を荒らされないようにと植えられたそうです。

(写真提供とコメントは土井良泰氏)

篠栗町内の風景写真募集中!!

議会事務局までご連絡下さい ※採用された方に図書券進呈

編集後記

秋深き季節となりました。今年は稲の収穫前に台風の被害もなく豊作であったと聞いています。11月は篠栗町長選、その後衆院選となりそうです。一段とにぎやかになります。町・国の将来を決定する大切な選挙です。貴重なあなたの一票が政治に反映します。必ず投票に行きましょう。

発行責任者

議長 今泉 正敏

議会広報編集特別委員会

委員長	村嶋 秀樹
副委員長	永柄 邦彦
委員	後藤百合子
委員	草場 謙次
委員	大楠 英志
委員	松田 國守

お知らせ

次回の12月定例議会は、12月11日からの予定です。一般質問は15日の予定です。お気軽に傍聴にお越しください。

●ぎかいだよりへのご意見・ご感想をお聞かせ下さい。